秋 田 県 内 中 小 企 業 景 況 調 査 結 果

（2021 年 4～6 月期）

秋田県商工会議所連合会

〈内容〉

Ⅰ．全産業の項目別DI値
Ⅱ．産業別DI値
Ⅲ．地域別DI値
Ⅳ．産業別設備投資
Ⅴ．地域別設備投資
Ⅵ．経営上の問題点
Ⅶ～Ⅹ．付帯調査
Ⅺ．総括表

※　景気判断・DI値とは、「増加」・「好転」・「過剰」したとする企業割合から「減少」・「悪化」・「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。（▲：マイナス）

≪参考≫県内景況調査に対する各企業のコメント　一覧

〈回収状況〉

業　種	対象企業数	有効回答企業数
建設業	40	34　（85.0%）
製造業	40	34　（85.0%）
卸売業	40	35　（87.5%）
小売業	40	38　（95.0%）
サービス業	40	35　（87.5%）
合　計	200	176　（88.0%）

地　域	対象企業数	有効回答企業数
県　北	50	40　（80.0%）
県　央	75	71　（94.7%）
県　南	75	65　（86.7%）

Ⅰ．全産業の項目別DI値

1．業況

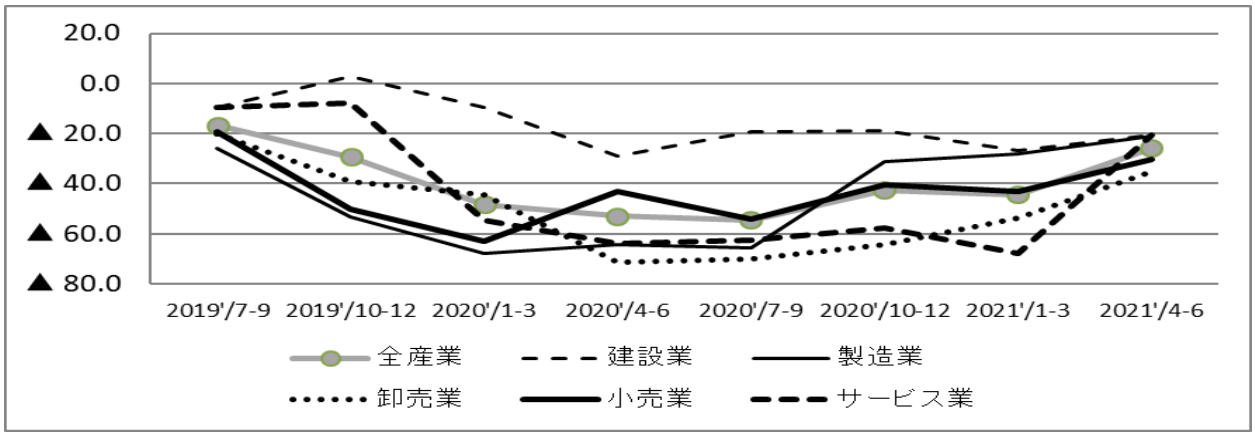
今期（4～6 月）の業況 DI 値は、全産業で▲25.8 と前期比で大幅に改善した。

産業別では、すべての業種で改善した。特にサービス業はプラス 47.1 ポイントと大幅に改善した。

来期の見通し（7～9 月）は、全産業で▲28.8 と今期比で悪化を見通している。

産業別では、サービス業、卸売業、小売業で悪化を見通している。特にサービス業はマイナス 16.5 ポイントの大幅な悪化を見通している。一方、製造業、建設業は改善を見通している。

	前期(1−3月)		今期(4−6月)			
		来期見通（4～6月）		前期比	来期見通（7～9月）	今期比
	(A)	(B)	(C)	(C)−(A)	(D)	(D)−(C)
全　産　業	▲ 44.3	▲ 32.9	▲ 25.8	18.5	▲ 28.8	−3.0
建　設　業	▲ 26.7	▲ 16.1	▲ 20.6	6.1	▲ 15.1	5.5
製　造　業	▲ 28.0	▲ 26.9	▲ 21.2	6.8	▲ 15.1	6.1
卸　売　業	▲ 53.9	▲ 33.3	▲ 35.3	18.6	▲ 41.2	−5.9
小　売　業	▲ 43.3	▲ 43.3	▲ 30.5	12.8	▲ 34.3	−3.8
サービス業	▲ 67.7	▲ 42.0	▲ 20.6	47.1	▲ 37.1	−16.5



2．売上額・完成工事額

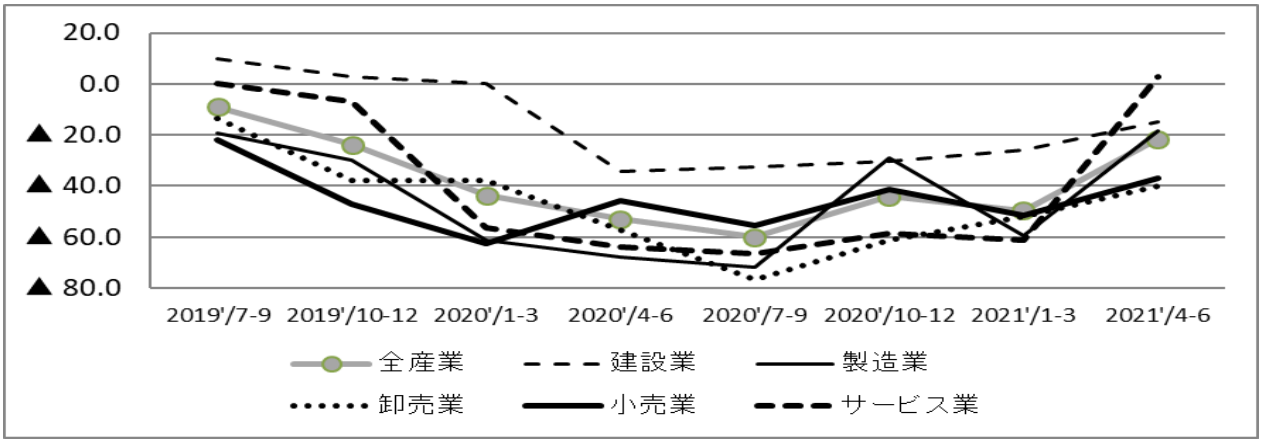
今期（4～6 月）の売上額・完成工事額 DI 値は、全産業で▲21.7 と前期比で大幅に改善した。

産業別では、すべての業種で改善した。特にサービス業、製造業はそれぞれプラス 64.0 ポイント、プラス 41.1 ポイントと大幅に改善した。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、昨年から店舗の休業、時短営業により大幅に売上が減少し、厳しい状況が続いているものの、前期との比較では改善と回答している企業が多数。

来期の見通し（7～9 月）は、全産業で▲29.7 と今期比で悪化を見通している。

産業別では、サービス業、卸売業、建設業、小売業で悪化を見通している。特にサービス業はマイナス 28.5 ポイントの大幅な悪化を見通している。一方、製造業は改善を見通している。

	前期(1−3月)		今期(4−6月)			
		来期見通（4～6月）		前期比	来期見通（7～9月）	今期比
	(A)	(B)	(C)	(C)−(A)	(D)	(D)−(C)
全　産　業	▲ 49.7	▲ 27.5	▲ 21.7	28.0	▲ 29.7	−8.0
建　設　業	▲ 25.8	▲ 19.4	▲ 14.8	11.0	▲ 20.6	−5.8
製　造　業	▲ 59.3	▲ 3.7	▲ 18.2	41.1	▲ 6.1	12.1
卸　売　業	▲ 51.9	▲ 29.6	▲ 40.0	11.9	▲ 54.3	−14.3
小　売　業	▲ 51.4	▲ 46.0	▲ 36.8	14.6	▲ 39.4	−2.6
サービス業	▲ 61.2	▲ 32.2	2.8	64.0	▲ 25.7	−28.5



3. 資金繰り

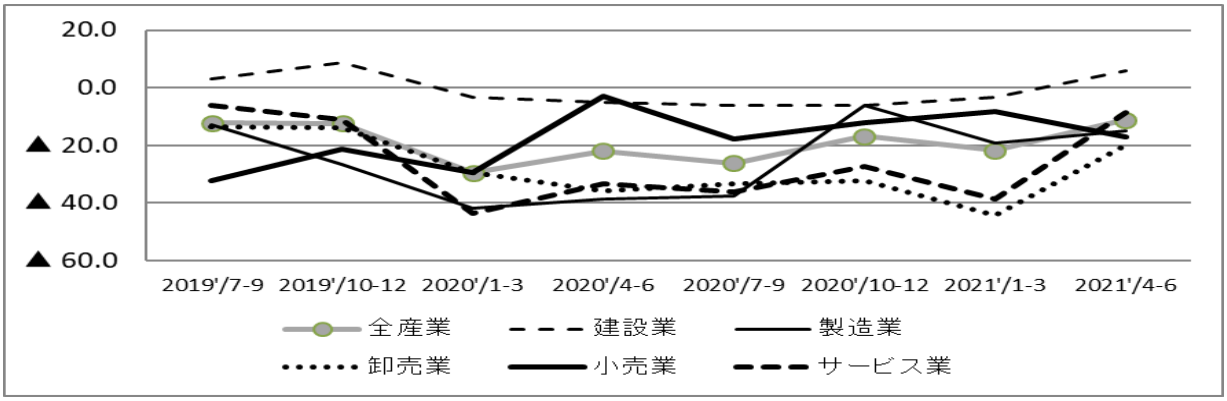
今期(4～6 月)の資金繰り DI 値は、全産業で▲11.1 と前期比で改善した。

産業別では、サービス業、卸売業、建設業、製造業が改善した。特にサービス業、卸売業はそれぞれプラス 30.2 ポイント、プラス 24..4 ポイントと大幅に改善した。一方、小売業は悪化した。

来期の見通し(7～9 月)は、全産業で▲14.0 と今期比でわずかながら悪化を見通している。

産業別では、卸売業、小売業が横ばい、建設業がプラス幅を縮小し、今期のプラスからマイナスへ転じ、サービス業が悪化を見通す一方、製造業は改善を見通している。

	前期(1−3月)		今期(4−6月)			
		来期見通(4～6月)		前期比	来期見通(7～9月)	今期比
	(A)	(B)	(C)	(C)−(A)	(D)	(D)−(C)
全産業	▲ 21.8	▲ 17.8	▲ 11.1	10.7	▲ 14.0	−2.9
建設業	▲ 3.2	3.2	5.9	9.1	▲ 3.0	−8.9
製造業	▲ 19.2	▲ 7.7	▲ 15.1	4.1	▲ 12.1	3.0
卸売業	▲ 44.4	▲ 37.0	▲ 20.0	24.4	▲ 20.0	0.0
小売業	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 17.2	−8.9	▲ 17.1	0.1
サービス業	▲ 38.7	▲ 32.3	▲ 8.5	30.2	▲ 17.1	−8.6



4. 受注残(未消化工事高)

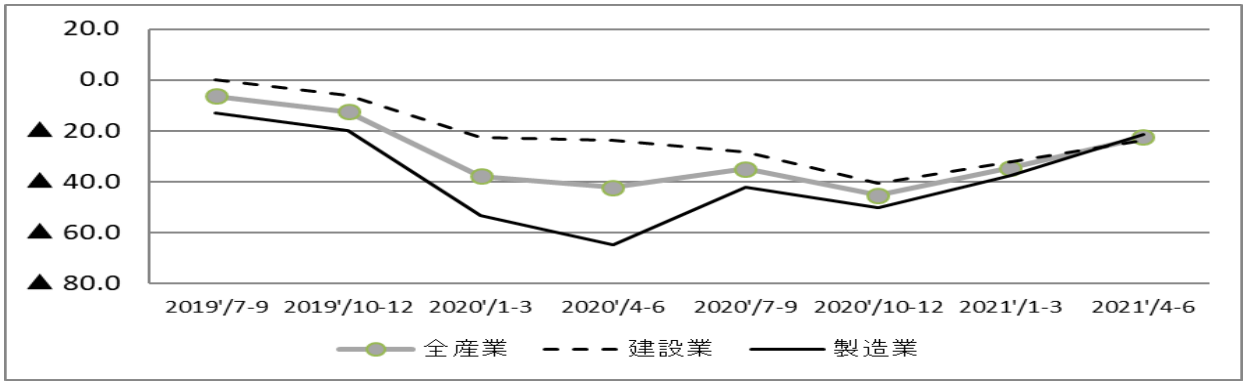
今期(4～6 月)の受注残 DI 値は、全産業で▲22.4 と前期比で改善した。

産業別では、製造業、建設業ともに改善した。特に製造業はプラス 16.3 ポイントと大幅に改善した。

来期の見通し(7～9 月)は、全産業で▲6.0 と今期比でプラス 16.4 ポイントの大幅な改善を見通している。

産業別では、建設業、製造業とも改善を見通している。

	前期(1−3月)		今期(4−6月)			
		来期見通（4～6月）		前期比	来期見通（7～9月）	
	(A)	(B)	(C)	(C)−(A)	(D)	今期比 (D)−(C)
全　産　業	▲ 34.5	▲ 17.8	▲ 22.4	12.1	▲ 6.0	16.4
建　設　業	▲ 32.2	▲ 19.3	▲ 23.5	8.7	▲ 2.9	20.6
製　造　業	▲ 37.5	▲ 16.0	▲ 21.2	16.3	▲ 9.0	12.2



5. 採算（経常利益）

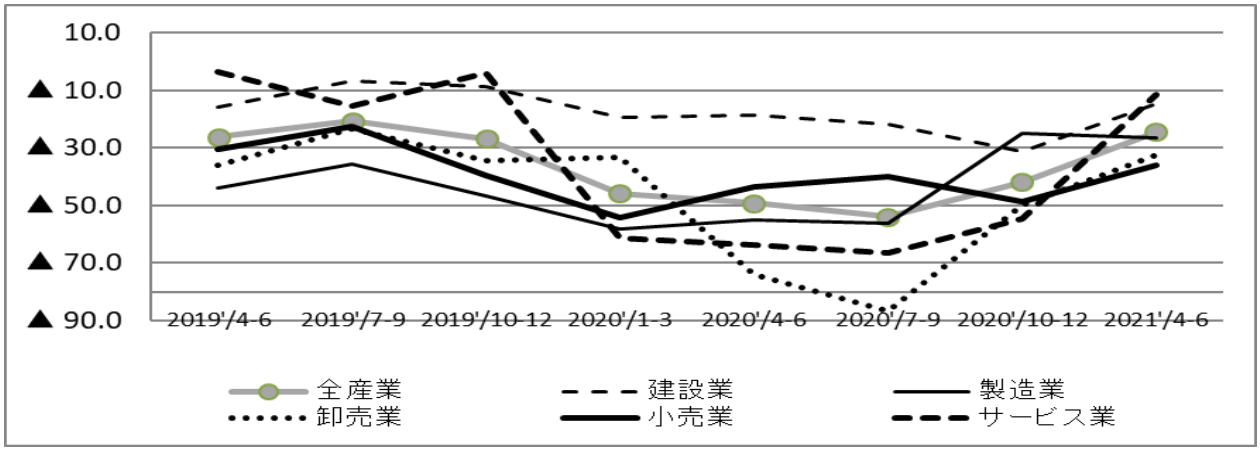
今期（4～6 月）の採算 DI 値は、全産業で▲24.3 と前期比で改善した。

産業別では、サービス業、卸売業、製造業、建設業で改善した。特にサービス業はプラス 51.9 ポイントと大幅に改善した。一方、小売業は悪化した。

来期の見通し（7～9 月）は、全産業で▲27.8 と今期比で悪化を見通している。

産業別では、建設業、小売業が横ばい、サービス業、卸売業が悪化を見通す一方、製造業はわずかながら改善を見通している。

	前期(1−3月)		今期(4−6月)			
		来期見通（4～6月）		前期比	来期見通（7～9月）	
	(A)	(B)	(C)	(C)−(A)	(D)	今期比 (D)−(C)
全　産　業	▲ 36.0	▲ 34.5	▲ 24.3	11.7	▲ 27.8	−3.5
建　設　業	▲ 16.1	▲ 25.8	▲ 14.7	1.4	▲ 14.7	0.0
製　造　業	▲ 28.0	▲ 19.2	▲ 26.4	1.6	▲ 23.5	2.9
卸　売　業	▲ 40.8	▲ 29.6	▲ 32.4	8.4	▲ 41.2	−8.8
小　売　業	▲ 32.4	▲ 50.0	▲ 36.1	−3.7	▲ 36.1	0.0
サービス業	▲ 63.3	▲ 42.0	▲ 11.4	51.9	▲ 22.9	−11.5



6. 従業員（含む臨時）

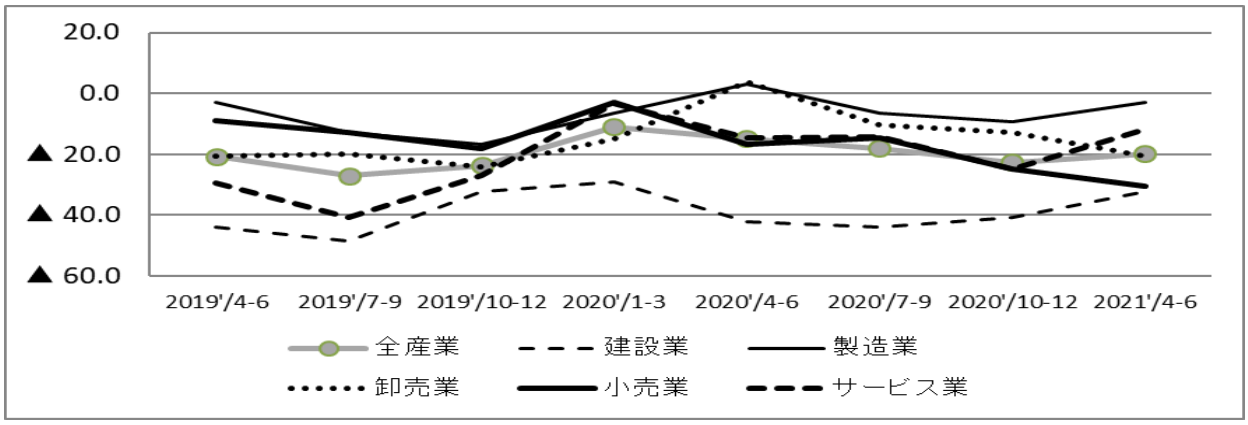
今期（4～6 月）の従業員 DI 値は、全産業で▲19.8 と前期比で不足感を拡大した。

産業別では、卸売業が前期の過剰から不足に転じ、小売業は不足感を拡大した。一方、製造業、建設業、サービス業は不足感を縮小した。

来期の見通し（7～9 月）は、全産業で▲20.3 と今期比でわずかながら不足感の縮小を見通している。

産業別では、建設業、サービス業が横ばい、製造業で不足感の拡大を見通す一方、卸売業、小売業で不足感の縮小を見通している。

	前期(1−3月)		今期(4−6月)			
		来期見通（4～6月）		前期比	来期見通（7～9月）	今期比
	(A)	(B)	(C)	(C)−(A)	(D)	(D)−(C)
全産業	▲ 16.6	▲ 17.9	▲ 19.8	−3.2	▲ 20.3	−0.5
建設業	▲ 35.5	▲ 38.7	▲ 32.4	3.1	▲ 32.4	0.0
製造業	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 3.0	4.7	▲ 11.8	−8.8
卸売業	3.7	3.7	▲ 20.6	−24.3	▲ 17.1	3.5
小売業	▲ 24.3	▲ 16.2	▲ 30.5	−6.2	▲ 28.6	1.9
サービス業	▲ 13.4	▲ 23.3	▲ 11.8	1.6	▲ 11.8	0.0



Ⅱ. 産業別DI値

1. 建設業

今期（4～6 月）のDI値は、業況が▲20.6 と前期比で改善した。

項目別では、すべての項目で改善した。特に資金繰りは前期のマイナスからプラスに転じた。従業員は不足感を縮小した。

企業からは、「雪害による工事の増加で完成工事額、資金繰り、採算が好転した」【建築工事】とのコメントがある一方、「公共工事、個人顧客からの依頼が減少し、完成工事額が減少した」【塗装工事】とのコメントがあった。

来期の見通し（7～9 月）は、業況が▲15.1 と今期比で改善を見通している。

項目別では、採算が横ばい、受注残がプラス 20.6 ポイントの大幅な改善を見通す一方、資金繰りが今期のプラスからマイナスへ転じ、完成工事額も悪化を見通している。

企業からは、「やや規模の大きい現場が増えたことにより業況が好転する見通し」【防水工事】とのコメントがある一方、「官民からの発注の減少を見込む」【塗装工事】とのコメントがあった。

	前期(1−3月)		今期(4−6月)			
		来期見通（4～6月）		前期比	来期見通（7～9月）	
	(A)	(B)	(C)	(C)−(A)	(D)	今期比 (D)−(C)
業況	▲ 26.7	▲ 16.1	▲ 20.6	6.1	▲ 15.1	5.5
完成工事額	▲ 25.8	▲ 19.4	▲ 14.8	11.0	▲ 20.6	−5.8
資金繰り	▲ 3.2	3.2	5.9	9.1	▲ 3.0	−8.9
受注残	▲ 32.2	▲ 19.3	▲ 23.5	8.7	▲ 2.9	20.6
採算（経常利益）	▲ 16.1	▲ 25.8	▲ 14.7	1.4	▲ 14.7	0.0
従業員（含む臨時）	▲ 35.5	▲ 38.7	▲ 32.4	3.1	▲ 32.4	0.0

2. 製造業

今期（4～6 月）のDI値は、業況が▲21.2 と前期比で改善した。

項目別では、すべての項目で改善した。特に売上額はプラス 41.1 ポイントの大幅な改善となった。従業員は不足感を縮小した。

企業からは、「4、5月は前期よりよかったが、6月は前期より悪かった」【乾麺】のコメントがある一方、「コロナ禍が一巡したにも関わらず、感染拡大第四波と緊急事態宣言の発出及び延長、影響の長期化により、飲食店の休廃業が増加したため、業務用の出荷がさらに減少。家庭用の出荷は堅調であるが、落ち込みを補う勢いはない」【清酒製造】とのコメントがあった。

来期の見通し（7～9 月）は、業況が▲15.1 と今期比で改善を見通している。

項目別では、すべての項目で改善を見通している。従業員は不足感の拡大を見通している。

企業からは「コロナの終息が早まれば売上回復できると思う」【水産物製造・卸売】とのコメントがある一方、「オリンピック・パラリンピックに注目が集まり、地方は置き去りになる。ワクチン接種がどれだけ進むかまた、選挙で経済対策がいつ実行されるかにかかっている」【乾麺】とのコメントがあった。

	前期(1−3月)		今期(4−6月)			
		来期見通（4～6月）		前期比	来期見通（7～9月）	
	(A)	(B)	(C)	(C)−(A)	(D)	今期比 (D)−(C)
業況	▲ 28.0	▲ 26.9	▲ 21.2	6.8	▲ 15.1	6.1
売上額	▲ 59.3	▲ 3.7	▲ 18.2	41.1	▲ 6.1	12.1
資金繰り	▲ 19.2	▲ 7.7	▲ 15.1	4.1	▲ 12.1	3.0
受注残	▲ 37.5	▲ 16.0	▲ 21.2	16.3	▲ 9.0	12.2
採算（経常利益）	▲ 28.0	▲ 19.2	▲ 26.4	1.6	▲ 23.5	2.9
従業員（含む臨時）	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 3.0	4.7	▲ 11.8	−8.8

3. 卸売業

今期（4～6 月）のDI値は、業況が▲35.3 と前期比で大幅に改善した。

項目別では、資金繰り、売上額、採算が改善した。特に資金繰りはプラス 24.4 ポイントと大幅に改善した。従業員はマイナス 24.3 ポイントと前期の過剰から不足に転じた。

企業からは、「コロナ禍において食品業界は比較的強いと感じる」【食肉】とのコメントがある一方、「小売店（大型店）は好調であるが、飲食業、観光業の売上が回復せず、伸びが悪い」【青果・水産物】とのコメントがあった。

来期の見通し（7～9 月）は、業況が▲41.2 と今期比で悪化を見通している。

項目別では、資金繰りが横ばい、売上額、採算が悪化を見通している。従業員は不足感の縮小を見通している。

企業からは、「地元の小規模小売店の閉店など高齢化による商圏の縮小が起こっている」【青果・水産物】、「売上高は回復基調にあるものの、仕入高の高騰により採算は予想を下回ると思われる」【鶏卵】とのコメントがあった。

	前期(1−3月)		今期(4−6月)			
		来期見通（4～6月）		前期比	来期見通（7～9月）	
	(A)	(B)	(C)	(C)−(A)	(D)	今期比 (D)−(C)
業況	▲ 53.9	▲ 33.3	▲ 35.3	18.6	▲ 41.2	−5.9
売上額	▲ 51.9	▲ 29.6	▲ 40.0	11.9	▲ 54.3	−14.3
資金繰り	▲ 44.4	▲ 37.0	▲ 20.0	24.4	▲ 20.0	0.0
採算（経常利益）	▲ 40.8	▲ 29.6	▲ 32.4	8.4	▲ 41.2	−8.8
従業員（含む臨時）	3.7	3.7	▲ 20.6	−24.3	▲ 17.1	3.5

4. 小売業

今期（4～6 月）のDI値は、業況が▲30.5 と前期比で改善した。

項目別では、売上額が改善する一方、資金繰り、採算は悪化した。従業員は不足感を拡大した。

企業からは、「県内では新型コロナウイルスの影響はほとんどないものの、メーカーの商品改良等が相次いでいることから市場が活発化傾向にあり、半導体不足等により商品の出荷遅れや販売価格の低下はあるものの、増収・増益となった」【自動車】とのコメントがある一方、「売上減少。小売に関しては昨対で増加したが、イベント関連、冠婚葬祭の需要が減少した」【生花・造花】とのコメントがあった。

来期の見通し（7～9 月）は、業況が▲34,3 と今期比で悪化を見通している。

項目別では、採算、資金繰りが横ばい、売上額はわずかながら悪化を見通している。従業員はわずかながら不足感の縮小を見通している。

企業からは、「全国的に新型コロナウイルス感染症の影響はほとんどないが、一部商品でメーカーの生産が逼迫していることに加え、半導体不足の影響から商品の生産に遅れが発生し、コンパクトカーを中心に長納期化傾向となっており、前年同期の売上確保が困難な状況を見込む」【自動車】とのコメントがある一方、「コロナの状況により好転もありうる」【自動車部品】とのコメントがあった。

	前期(1−3月)		今期(4−6月)			
		来期見通（4～6月）		前期比	来期見通（7～9月）	
	(A)	(B)	(C)	(C)−(A)	(D)	今期比 (D)−(C)
業況	▲ 43.3	▲ 43.3	▲ 30.5	12.8	▲ 34.3	−3.8
売上額	▲ 51.4	▲ 46.0	▲ 36.8	14.6	▲ 39.4	−2.6
資金繰り	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 17.2	−8.9	▲ 17.1	0.1
採算（経常利益）	▲ 32.4	▲ 50.0	▲ 36.1	−3.7	▲ 36.1	0.0
従業員（含む臨時）	▲ 24.3	▲ 16.2	▲ 30.5	−6.2	▲ 28.6	1.9

5. サービス業

今期（4～6 月）のDI値は、業況が▲20.6 と前期比でプラス 47.1 ポイントの大幅な改善となった。

項目別では、すべての項目で大幅に改善した。従業員はわずかながら不足感を縮小した。

企業からは、「売上が前年同月比約8%増加となる見込[国産材（昨年は定期傭船契約あり）、石膏等の取扱数量の減少はあるものの、亜鉛鉱、石炭の取扱増による] 」【運輸】とのコメントがある一方、「昨年が悪すぎたため、今期が回復している訳ではない。新型コロナの影響が大きい状況に変わりはない」【運輸】とのコメントがあった。

来期の見通し（7～9 月）は、業況は▲37.1 と今期比で大幅な悪化を見通している。

項目別では、すべての項目で悪化を見通している。特に売上額は今期のプラスからマイナスに転じる見通しをしている。従業員は横ばいを見通している。

企業からは「売上が伸びている業種でも先行き不安定のため、新契約が伸びていない。むしろ先を考えて契約を減らす、整理をしている所が多く、厳しくなると思われる」【保険代理業】とのコメントがある一方、「売上は前年同月比約 10%増加となる見込（国産材の生産量が安定していること等）」【運輸】とのコメントがあった。

	前期(1−3月)		今期(4−6月)			
		来期見通（4～6月）		前期比	来期見通（7～9月）	
	(A)	(B)	(C)	(C)−(A)	(D)	今期比 (D)−(C)
業況	▲ 67.7	▲ 42.0	▲ 20.6	47.1	▲ 37.1	−16.5
売上額	▲ 61.2	▲ 32.2	2.8	64.0	▲ 25.7	−28.5
資金繰り	▲ 38.7	▲ 32.3	▲ 8.5	30.2	▲ 17.1	−8.6
採算（経常利益）	▲ 63.3	▲ 42.0	▲ 11.4	51.9	▲ 22.9	−11.5
従業員（含む臨時）	▲ 13.4	▲ 23.3	▲ 11.8	1.6	▲ 11.8	0.0

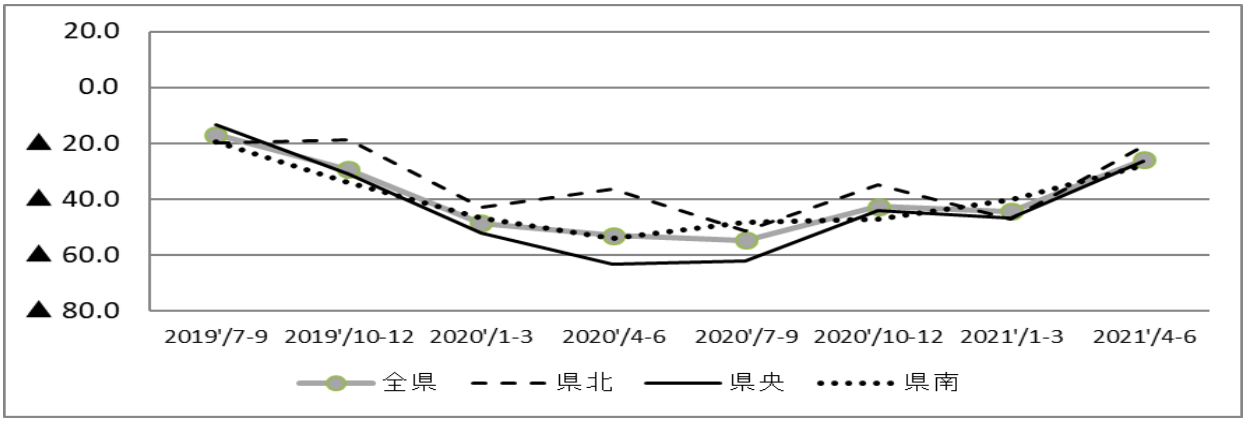
Ⅲ. 地域別DI値

1. 業況

今期（4～6 月）のDI値は、前期比で全域が改善した。

来期の見通し（7～9 月）は、今期比で県央が悪化、県南、県北はともにわずかながら改善を見通している。

	前期(1−3月)		今期(4−6月)			
		来期見通（4～6月）		前期比	来期見通（7～9月）	
	(A)	(B)	(C)	(C)−(A)	(D)	今期比 (D)−(C)
全　県	▲ 44.3	▲ 32.9	▲ 25.8	18.5	▲ 28.8	−3.0
県　北	▲ 46.9	▲ 40.7	▲ 21.0	25.9	▲ 18.4	2.6
県　央	▲ 46.7	▲ 31.8	▲ 26.4	20.3	▲ 38.3	−11.9
県　南	▲ 40.0	▲ 29.8	▲ 27.7	12.3	▲ 25.0	2.7

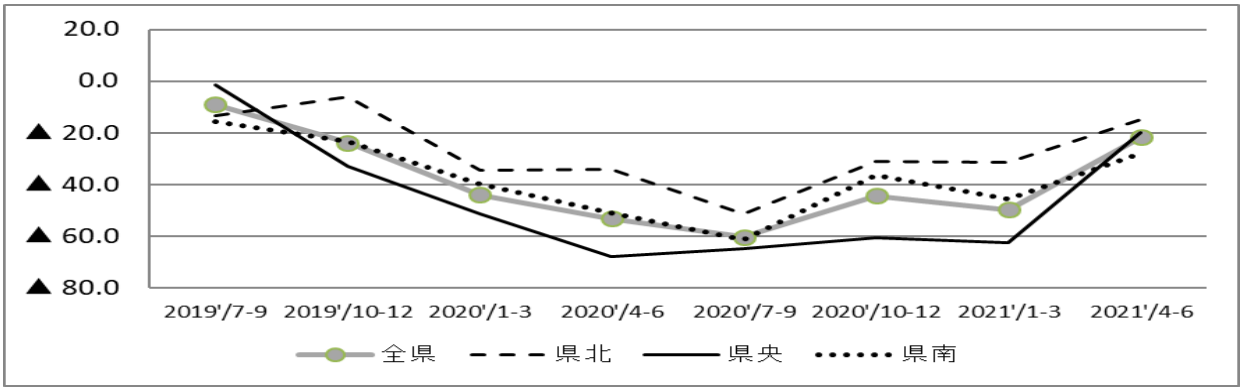


2. 売上額・完成工事額

今期（4～6 月）のDI値は、前期比で全域が改善した。特に県央はプラス 42.5 ポイントと大幅に改善した。

来期見通し（7～9 月）は、今期比で県央、県北が悪化を見通す一方、県南は改善を見通している。

	前期(1−3月)		今期(4−6月)			
		来期見通（4～6月）		前期比	来期見通（7～9月）	
	(A)	(B)	(C)	(C)−(A)	(D)	今期比 (D)−(C)
全　県	▲ 49.7	▲ 27.5	▲ 21.7	28.0	▲ 29.7	−8.0
県　北	▲ 31.2	▲ 37.5	▲ 15.0	16.2	▲ 25.0	−10.0
県　央	▲ 62.5	▲ 25.0	▲ 20.0	42.5	▲ 37.2	−17.2
県　南	▲ 45.6	▲ 24.6	▲ 27.7	17.9	▲ 24.6	3.1

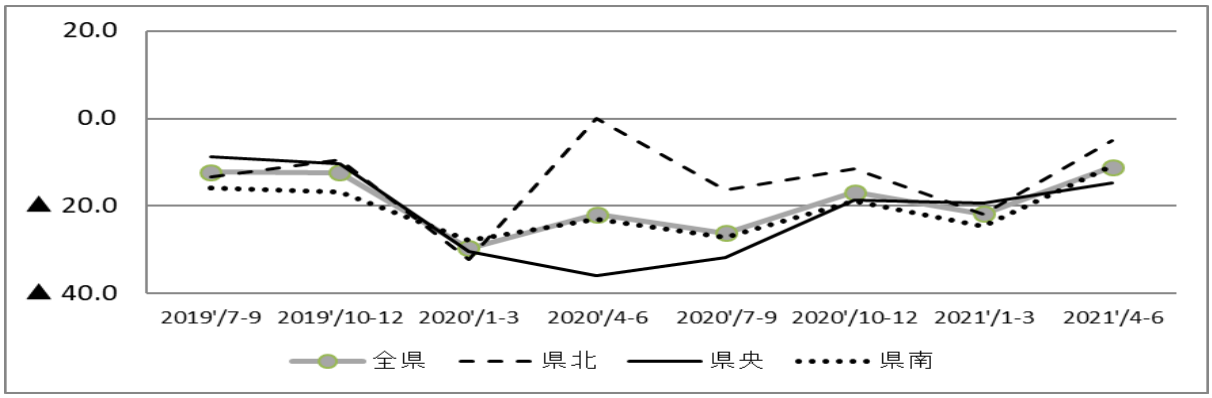


3. 資金繰り

今期(4～6 月)のDI値は、前期比で全域が改善した。

来期見通し(7～9 月)は、今期比で県央、県北が悪化を見通す一方、県南はわずかながら改善を見通している。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
		来期見通(4～6月)		前期比	来期見通(7～9月)	
	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	今期比 (D)－(C)
全　県	▲ 21.8	▲ 17.8	▲ 11.1	10.7	▲ 14.0	-2.9
県　北	▲ 21.8	▲ 15.6	▲ 5.1	16.7	▲ 7.7	-2.6
県　央	▲ 19.4	▲ 16.1	▲ 14.7	4.7	▲ 22.1	-7.4
県　南	▲ 24.5	▲ 21.0	▲ 10.8	13.7	▲ 9.2	1.6

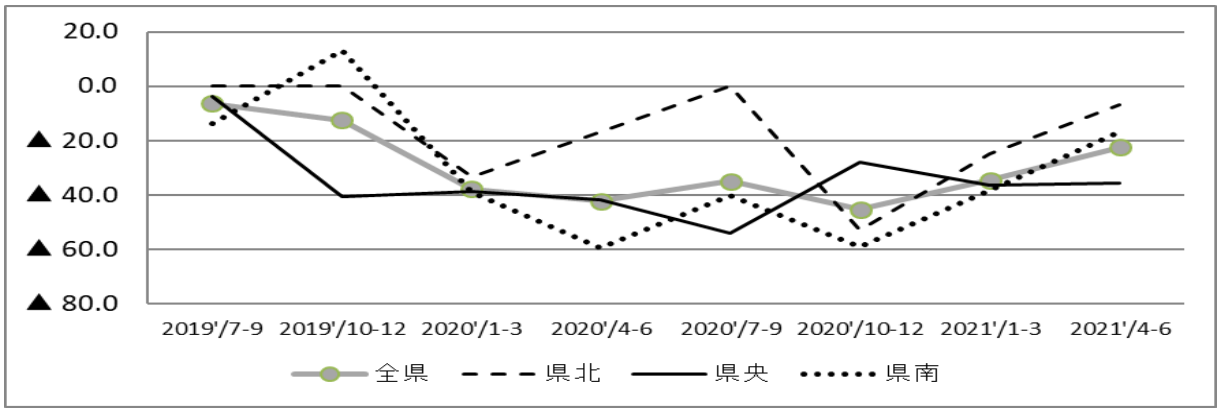


4. 受注残(未消化工事高)

今期(4～6 月)のDI値は、前期比で、全域で改善した。特に県南、県北でそれぞれプラス 21.5 ポイント、プラス 18.3 ポイントの大幅な改善となった。

来期見通し(7～9 月)は、今期比で県央、県南がそれぞれプラス 25.0 ポイント、プラス 20.8 ポイントの大幅な改善を見通す一方、県北は悪化を見通している。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
		来期見通(4～6月)		前期比	来期見通(7～9月)	
	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	今期比 (D)－(C)
全　県	▲ 34.5	▲ 17.8	▲ 22.4	12.1	▲ 6.0	16.4
県　北	▲ 25.0	▲ 16.6	▲ 6.7	18.3	▲ 13.4	-6.7
県　央	▲ 36.4	▲ 21.8	▲ 35.7	0.7	▲ 10.7	25.0
県　南	▲ 38.1	▲ 14.3	▲ 16.6	21.5	4.2	20.8

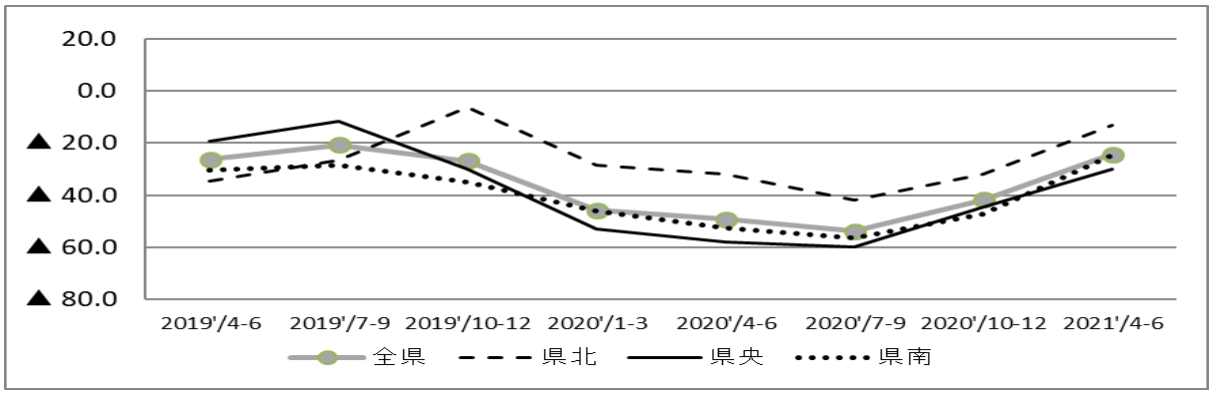


5. 採算（経常利益）

今期（4～6 月）のDI値は、前期比で全域が改善した。特に県北はプラス 24.3 ポイントと大幅なものとなった。

来期見通し（7～9 月）は、今期比で県央、県南が悪化を見通す一方、県北はわずかながら改善を見通している。

	前期(1−3月)		今期(4−6月)			
		来期見通（4～6月）		前期比	来期見通（7～9月）	
	(A)	(B)	(C)	(C)−(A)	(D)	今期比 (D)−(C)
全　県	▲ 36.0	▲ 34.5	▲ 24.3	11.7	▲ 27.8	−3.5
県　北	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 13.2	24.3	▲ 12.8	0.4
県　央	▲ 38.7	▲ 33.8	▲ 30.0	8.7	▲ 37.7	−7.7
県　南	▲ 32.1	▲ 33.4	▲ 24.6	7.5	▲ 26.1	−1.5

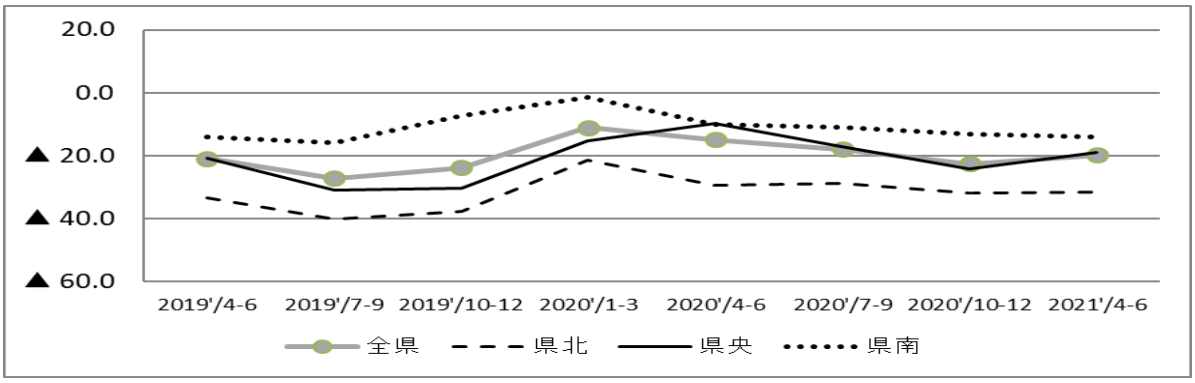


6. 従業員（含む臨時）

今期（4～6 月）のDI値は、前期比で県南がほぼ横ばい、県北、県央が不足感を拡大した。

来期見通し（7～9 月）は、今期比で県央が不足感の拡大を見通す一方、県北、県南は不足感の縮小を見通している。

	前期(1−3月)		今期(4−6月)			
		来期見通（4～6月）		前期比	来期見通（7～9月）	
	(A)	(B)	(C)	(C)−(A)	(D)	今期比 (D)−(C)
全　県	▲ 16.6	▲ 17.9	▲ 19.8	−3.2	▲ 20.3	−0.5
県　北	▲ 21.8	▲ 21.8	▲ 31.6	−9.8	▲ 25.6	6.0
県　央	▲ 16.1	▲ 20.9	▲ 18.8	−2.7	▲ 26.1	−7.3
県　南	▲ 14.0	▲ 12.3	▲ 13.9	0.1	▲ 11.0	2.9



Ⅳ. 産業別設備投資

全産業における今期（4～6 月）の設備投資については、「実施した」とする企業は 43 件で、前期比で 4 件減少した。

産業別では、「実施した」とする中で最も多かったのは、サービス業（11 件）、次いで建設業、製造業（ともに 10 件）、卸売業、小売業（ともに 6 件）の順となっている。

全産業で、設備投資内容で最も多かったのは、「車両・運搬具」（14 件）、次いで「機械・設備・倉庫」（11 件）、「OA 機器」（10 件）の順となっている。

来期（7～9 月）の計画では、全産業で「計画している」としたのは 51 件で、今期比で 8 件増加している。

産業別では、「計画している」とした中で最も多かったのは、製造業（15 件）、次いで建設業、サービス業（ともに 11 件）、小売業（8 件）の順となっている。

全産業で、設備投資内容で最も多かったのは、「車両・運搬具」（19 件）、「機械・設備・倉庫」（13 件）、「建物・工場・店舗」（10 件）の順となっている。

設備投資状況　（件数）

	前期（1～3月）				今期（4～6月）					
			来期の計画(4-6月)					来期の計画(7-9月)		
	実施した (A)	実施しない	計画している (B)	計画していない	実施した (C)	実施しない	前期比 (C-A)	計画している (D)	計画していない	今期比 (D-C)
全産業	47	106	39	114	43	133	▲ 4	51	125	8
建設業	11	20	9	22	10	24	▲ 1	11	23	1
製造業	7	20	8	19	10	24	3	15	19	5
卸売業	7	20	7	20	6	29	▲ 1	6	29	0
小売業	10	27	7	30	6	32	▲ 4	8	30	2
サービス業	12	19	8	23	11	24	▲ 1	11	24	0

設備内容（複数回答）　（件数）

	全産業		建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
①土地	2	3	0	0	0	1	1	0	0	0	1	2
②建物・工場・店舗	8	10	1	3	3	1	1	1	1	2	2	3
③機械・設備・倉庫	11	13	2	2	6	9	1	0	1	2	1	0
④車両・運搬具	14	19	5	5	2	3	1	3	3	3	3	5
⑤付帯施設	2	6	0	0	1	1	0	0	0	2	1	3
⑥OA機器	10	7	3	2	1	3	2	1	0	0	4	1
⑦福利厚生施設	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
⑧その他	5	3	1	1	1	1	1	1	0	0	2	0
合　計	54	61	12	13	15	19	7	6	6	9	14	14

Ⅴ. 地域別設備投資

今期（4～6 月）の設備投資について、「実施した」企業は、前期比で全域が減少した。

設備投資で最も多いのは、県北で「建物・工場・店舗」「機械・設備・倉庫」（ともに 4 件）、県央で「車両・運搬具」（8 件）、県南で「車両・運搬具」（4 件）となった。

来期（7～9 月）の設備投資について、「計画している」企業は、今期比で県北が横ばい、県央、県南が増加を見通している。

「計画している」企業の設備内容で最も多かったのは、県北で「車両・運搬具」（5 件）、県央で「機械・設備・倉庫」「車両・運搬具」(ともに 9 件)、県南で「車両・運搬具」（5 件)となっている。

設備投資状況　（件数）

	前期（1～3月）				今期（4～6月）					
			来期の計画(1-3月)					来期の計画(7-9月)		
	実施した (A)	実施しない	計画している (B)	計画していない	実施した (C)	実施しない	前期比 (C-A)	計画している (D)	計画していない	今期比 (D-C)
全　体	47	106	39	114	43	133	▲ 4	51	125	8
県　北	11	21	10	22	10	30	▲ 1	10	30	0
県　央	23	41	20	44	21	50	▲ 2	28	43	7
県　南	13	44	9	48	12	53	▲ 1	13	52	1

設備内容（複数回答）　（件数）

	全県		県北		県央		県南	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
①土地	2	3	2	1	1	1	0	1
②建物・工場・店舗	8	10	4	4	2	4	3	3
③機械・設備・倉庫	11	13	4	2	6	9	2	2
④車両・運搬具	14	19	2	5	8	9	4	5
⑤付帯施設	2	6	0	0	2	4	0	2
⑥OA機器	10	7	1	3	5	2	3	2
⑦福利厚生施設	2	0	0	0	0	0	2	0
⑧その他	5	3	1	0	2	2	2	1
合　計	54	61	14	15	26	31	16	16

Ⅵ. 経営上の問題点

産業別における「経営上の問題点」は、製造業、卸売業、サービス業が「需要の停滞」を第1位に挙げている。建設業は「従業員の確保難」、小売業は「消費者ニーズの変化への対応」を第1位に挙げている。

2位以下の項目では、建設業が「熟練技術者の確保難」「民間需要の停滞」、製造業が「製品ニーズの変化への対応」「生産設備の不足・老朽化」「製品（加工）単価の低下・上昇難」「熟練技術者の確保難」「従業員の確保難」、卸売業が「販売単価の低下・上昇難」「店舗・倉庫の狭隘・老朽化」、小売業が「仕入単価の上昇」「需要の停滞」「人件費以外の経費の上昇」「販売単価の低下・上昇難」「従業員の確保難」、サービス業が「従業員の確保難」「熟練技術者の確保難」「利用者ニーズの変化への対応」「人件費の増加」を問題点として挙げており、需要の停滞による売上の伸び悩みや人材不足、生産設備・店舗の不足・老朽化、仕入単価の上昇、製品・利用者ニーズの変化への対応、経費の増加等が経営課題となっていることがうかがえる。

	1位		2位		3位	
建設業	従業員の確保難		熟練技術者の確保難		民間需要の停滞	
	23.3%	7件	23.3%	7件	24.0%	6件
製造業	需要の停滞		製品ニーズの変化への対応 生産設備の不足・老朽化 製品（加工）単価の低下・上昇難 熟練技術者の確保難		従業員の確保難	
	29.4%	10件	15.6%	5件	25.9%	7件
卸売業	需要の停滞		販売単価の低下・上昇難		店舗・倉庫の狭隘・老朽化	
	39.4%	13件	21.4%	6件	24.0%	6件
小売業	消費者ニーズの変化への対応		仕入単価の上昇		需要の停滞 人件費以外の経費の増加 販売単価の低下・上昇難 従業員の確保難	
	19.4%	7件	16.7%	6件	13.3%	4件
サービス業	需要の停滞		需要の停滞 従業員の確保難 熟練技術者の確保難		需要の停滞 利用者ニーズの変化への対応 人件費の増加	
	21.9%	7件	14.8%	4件	16.0%	4件

※　%は 1 位、2 位、3 位それぞれの回答数（＝100%）の割合を示したもの。

参考：1～3 位を累計した場合

	1位		2位		3位	
建設業	熟練技術者の確保難		官公需要の停滞 民間需要の停滞 材料価格の上昇		下請業者の確保難	
	14.8%	13件	13.6%	12件	10.2%	9件
製造業	需要の停滞 従業員の確保難		原材料価格の上昇		製品ニーズの変化への対応 生産設備の不足・老朽化	
	15.1%	14件	14.0%	13件	9.7%	9件
卸売業	需要の停滞		仕入単価の上昇		販売単価の低下・上昇難	
	22.1%	19件	18.6%	16件	12.8%	11件
小売業	需要の停滞 消費者ニーズの変化への対応		仕入単価の上昇		従業員の確保難	
	14.7%	15件	13.7%	14件	9.8%	10件
サービス業	需要の停滞		利用者ニーズの変化への対応		従業員の確保難	
	18.3%	15件	15.9%	13件	14.6%	12件

※　%は 1～3 位までの総回答数（＝100%）の割合を示したもの。

【付帯調査】
◎業務のデジタル化に関する調査

Ⅶ. 業務で IT を導入しているかについて

・業務で IT を導入しているかについて聞いたところ、回答のあった 164 社中、①「はい」が 144 社 87.8%、②「いいえ」が 20 社 12.2%となった。

選　　択　　肢	社数	構成比（%）
① はい	144	87.8
② いいえ	20	12.2
合　計	164	100.0

Ⅷ. 導入している IT について(複数回答)

・導入している IT について聞いたところ、回答のあった 144 社中、①「パソコン」が 144 件 100.0%、次いで②「ワードやエクセルなどのソフト」の 133 件 92.4%、③「自社ホームページ」、⑦「給与・経理業務ソフト」の 98 件 68.1%の順となった。

選　　択　　肢	件数	構成比（%）
①パソコン	144	100.0
②ワードやエクセルなどのソフト	133	92.4
③自社ホームページ	98	68.1
④ホームページ上での注文の受付、販売	38	26.4
⑤販売管理ソフト	74	51.4
⑥生産管理ソフト	18	12.5
⑦給与・経理業務ソフト	98	68.1
⑧社内のスケジュール管理、コミュニケーションを行うグループウェアソフト	36	25.0
⑨販売管理・生産管理など社内業務管理が一体となったソフト	15	10.4
⑩企業間で受発注情報や生産情報を共有するソフト	21	14.6
⑪センサでのデータ取得やそのデータを活用するソフト（IoT）	9	6.3
⑫パソコン入力を自動化する RPA のソフト	3	2.1
⑬AI（人口知能）	1	0.7
⑭その他	7	4.9

○その他のコメント

・建設業

・工事積算ソフト、銀行取引、E-tax、電子入札【塗装工事】

・ＣＩＷＥＢ等のクラウドサービス【総合建築工事】

・製造業

・アパレルＣＡＤ【婦人服】

・小売業

・フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなどのＳＮＳ【婦人靴】
・受発注システム【花・植木】

・サービス業

・指紋認証装置【運輸業】
・データベース作成ソフト【IT】

Ⅸ. デジタル化を進める上での課題について(複数回答)

・デジタル化を進める上での課題について聞いたところ、回答のあった 164 社中、①「社内に詳しい人材がいない」が 60 件 36.6%、次いで②「社内のシステム戦略が整備されていない」の 55 件 33.5%、⑭「課題なし」の 41 件 25.0%の順となった。

選　　択　　肢	件数	構成比（%）
①社内に詳しい人材がいない	60	36.6
②社内のシステム戦略が整備されていない	55	33.5
③社内に複数のシステムが存在し、連携していない	22	13.4
④自社の業務に合ったシステムが見つからない	30	18.3
⑤他の業務が優先され、先送りしている	35	21.3
⑥導入資金がない	25	15.2
⑦導入効果がわからない	26	15.9
⑧導入に対する支援制度がない	11	6.7
⑨導入する必要性を感じない	21	12.8
⑩導入したが使いこなせていない	10	6.1
⑪何から手をつけるべきかわからない	11	6.7
⑫IT に関して相談できる相手がいない	12	7.3
⑬その他	1	0.6
⑭課題なし	41	25.0

○その他のコメント

・製造業

・費用がかかりすぎる【婦人服】

Ｘ．デジタル化を進める上で望む支援について（自由記述）

・建設業

・専門的に IT に詳しい従業員がいないので、充分に活用できていないと思っている。技術指導があれば是非とも参加したいと思っている【一般土木建設工事】
・人材や機器の補助金活用等【一般土木建設工事】
・デジタル化を進める上で気軽に相談できる窓口が知りたい【一般電気工事】

・製造業

・助成金【婦人服】
・補助金制度の拡大、拡充【印刷】
・デジタル化を必要とする業種でないため、必要最小限でやっている。必要性が出たら考えたいと思う【コンクリート】

・卸売業

・社内に戦略的にシステム合理化、生産性向上を相談できる人材がいない。外部連携でき、またはフィリピンやベトナムのＩＴ、ＳＥとシステムが構築できる人材支援【食品・飲料】
・導入支援制度の更なる充実【紙・紙製品】
・弊社に適した生産管理導入の支援【農業土木資材】

・小売業

・無料の個別指導【婦人靴】
・弊社レベルの企業でデジタル化は必須事項ではない。取引先様との受注の際、クラウドを使用する程度である。後はセキュリティーも弱いようで顧客管理、販売管理に必要と思われる【茶類】
・パワーポイントの使用方法を習得したい【自動車部品】
・パソコン、タブレット等の購入や買い換え時の補助【自動車部品】
・導入の手順や効果について説明が欲しい【花・植木】
・売上のクラウド管理。現在、複数店舗で営業しているが、売上管理は日報。全てクラウドで管理することで業務効率化、ニーズの見直しを図れることは知っているが、どれを導入すればいいのか分からないことが数多くある【生花・造花】
・パソコンかソフトウェアの導入の支援制度等【酒類】
・店舗販売のためデジタル化ができない【衣類】
・補助金【燃料】
・店販売と配達に時間がかかり、なかなか整理できない【精肉】

・サービス業

・デジタル化を導入するための助成金等【一般乗合旅客自動車運送】
・指導者（入力業務、効率的な資金の使い方など）【食堂】
・社内における一体化したシステム導入のための支援【自動車整備】
・ソフトウェアの支払（契約）が年単位になり、使いにくいため、補助制度があればありがたい【IT】
・若いデジタル、パソコンなどＩＴに詳しい人材【保険代理業】
・補助制度（使いやすいもの）があるとありがたい【ホテル】

Ⅺ. 総括表

秋田県内中小企業景況調査
全産業別景気判断比較表（DI値）

（第1四半期：2021年4月～6月）

（▲マイナス）

	業況						売上額・完成工事額						資金繰り					
	前期（1～3月）		今期（4～6月）				前期（1～3月）		今期（4～6月）				前期（1～3月）		今期（4～6月）			
		来期見通（4～6月）		前期比	来期見通			来期見通（4～6月）		前期比	来期見通			来期見通（4～6月）		前期比	来期見通	
						今期比						今期比						今期比
	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)
全産業	▲ 44.3	▲ 32.9	▲ 25.8	18.5	▲ 28.8	-3.0	▲ 49.7	▲ 27.5	▲ 21.7	28.0	▲ 29.7	-8.0	▲ 21.8	▲ 17.8	▲ 11.1	10.7	▲ 14.0	-2.9
建設業	▲ 26.7	▲ 16.1	▲ 20.6	6.1	▲ 15.1	5.5	▲ 25.8	▲ 19.4	▲ 14.8	11.0	▲ 20.6	-5.8	▲ 3.2	3.2	5.9	9.1	▲ 3.0	-8.9
製造業	▲ 28.0	▲ 26.9	▲ 21.2	6.8	▲ 15.1	6.1	▲ 59.3	▲ 3.7	▲ 18.2	41.1	▲ 6.1	12.1	▲ 19.2	▲ 7.7	▲ 15.1	4.1	▲ 12.1	3.0
卸売業	▲ 53.9	▲ 33.3	▲ 35.3	18.6	▲ 41.2	-5.9	▲ 51.9	▲ 29.6	▲ 40.0	11.9	▲ 54.3	-14.3	▲ 44.4	▲ 37.0	▲ 20.0	24.4	▲ 20.0	0.0
小売業	▲ 43.3	▲ 43.3	▲ 30.5	12.8	▲ 34.3	-3.8	▲ 51.4	▲ 46.0	▲ 36.8	14.6	▲ 39.4	-2.6	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 17.2	-8.9	▲ 17.1	0.1
サービス業	▲ 67.7	▲ 42.0	▲ 20.6	47.1	▲ 37.1	-16.5	▲ 61.2	▲ 32.2	2.8	64.0	▲ 25.7	-28.5	▲ 38.7	▲ 32.3	▲ 8.5	30.2	▲ 17.1	-8.6

	受注残（未消化工事高）						採算（経常利益）						従業員（含む臨時）					
	前期（1～3月）		今期（4～6月）				前期（1～3月）		今期（4～6月）				前期（1～3月）		今期（4～6月）			
		来期見通（4～6月）		前期比	来期見通			来期見通（4～6月）		前期比	来期見通			来期見通（4～6月）		前期比	来期見通	
						今期比						今期比						今期比
	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)
全産業	▲ 34.5	▲ 17.8	▲ 22.4	12.1	▲ 6.0	16.4	▲ 36.0	▲ 34.5	▲ 24.3	11.7	▲ 27.8	-3.5	▲ 16.6	▲ 17.9	▲ 19.8	-3.2	▲ 20.3	-0.5
建設業	▲ 32.2	▲ 19.3	▲ 23.5	8.7	▲ 2.9	20.6	▲ 16.1	▲ 25.8	▲ 14.7	1.4	▲ 14.7	0.0	▲ 35.5	▲ 38.7	▲ 32.4	3.1	▲ 32.4	0.0
製造業	▲ 37.5	▲ 16.0	▲ 21.2	16.3	▲ 9.0	12.2	▲ 28.0	▲ 19.2	▲ 26.4	1.6	▲ 23.5	2.9	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 3.0	4.7	▲ 11.8	-8.8
卸売業	—	—	—	—	—	—	▲ 40.8	▲ 29.6	▲ 32.4	8.4	▲ 41.2	-8.8	3.7	3.7	▲ 20.6	-24.3	▲ 17.1	3.5
小売業	—	—	—	—	—	—	▲ 32.4	▲ 50.0	▲ 36.1	-3.7	▲ 36.1	0.0	▲ 24.3	▲ 16.2	▲ 30.5	-6.2	▲ 28.6	1.9
サービス業	—	—	—	—	—	—	▲ 63.3	▲ 42.0	▲ 11.4	51.9	▲ 22.9	-11.5	▲ 13.4	▲ 23.3	▲ 11.8	1.6	▲ 11.8	0.0

※ DI値：「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。
　　：従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果（業種別比較表）

（第1四半期：2021年4月～6月）

1．今期の状況

業種 ＼ 項目		業況			売上額・完成工事額			資金繰り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全産業	実数	18	91	62	39	59	77	14	125	33	10	32	25	21	89	63	14	110	48
	%	10.5	53.2	36.3	22.3	33.7	44.0	8.1	72.7	19.2	14.9	47.8	37.3	12.1	51.4	36.4	8.1	64.0	27.9
	DI	▲ 25.8			▲ 21.7			▲ 11.1			▲ 22.4			▲ 24.3			▲ 19.8		
建設業	実数	1	25	8	6	17	11	4	28	2	5	16	13	5	19	10	0	23	11
	%	2.9	73.5	23.5	17.6	50.0	32.4	11.8	82.4	5.9	14.7	47.1	38.2	14.7	55.9	29.4	0.0	67.6	32.4
	DI	▲ 20.6			▲ 14.8			5.9			▲ 23.5			▲ 14.7			▲ 32.4		
製造業	実数	6	14	13	8	11	14	3	22	8	5	16	12	4	17	13	8	17	9
	%	18.2	42.4	39.4	24.2	33.3	42.4	9.1	66.7	24.2	15.2	48.5	36.4	11.8	50.0	38.2	23.5	50.0	26.5
	DI	▲ 21.2			▲ 18.2			▲ 15.1			▲ 21.2			▲ 26.4			▲ 3.0		
卸売業	実数	2	18	14	5	11	19	2	24	9				3	17	14	1	25	8
	%	5.9	52.9	41.2	14.3	31.4	54.3	5.7	68.6	25.7				8.8	50.0	41.2	2.9	73.5	23.5
	DI	▲ 35.3			▲ 40.0			▲ 20.0						▲ 32.4			▲ 20.6		
小売業	実数	6	13	17	9	6	23	2	25	8				4	15	17	2	21	13
	%	16.7	36.1	47.2	23.7	15.8	60.5	5.7	71.4	22.9				11.1	41.7	47.2	5.6	58.3	36.1
	DI	▲ 30.5			▲ 36.8			▲ 17.2						▲ 36.1			▲ 30.5		
サービス業	実数	3	21	10	11	14	10	3	26	6				5	21	9	3	24	7
	%	8.8	61.8	29.4	31.4	40.0	28.6	8.6	74.3	17.1				14.3	60.0	25.7	8.8	70.6	20.6
	DI	▲ 20.6			2.8			▲ 8.5						▲ 11.4			▲ 11.8		

※ DI値：「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

：従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果（業種別比較表）

（第1四半期：2021年4月～6月）

2. 来期の見通し

業種 ＼ 項目		業況			売上額・完成工事額			資金繰り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全産業	実数	16	89	65	26	71	78	10	128	34	12	39	16	12	101	60	12	113	47
	%	9.4	52.4	38.2	14.9	40.6	44.6	5.8	74.4	19.8	17.9	58.2	23.9	6.9	58.4	34.7	7.0	65.7	27.3
	DI	▲ 28.8			▲ 29.7			▲ 14.0			▲ 6.0			▲ 27.8			▲ 20.3		
建設業	実数	5	18	10	5	17	12	3	27	4	7	19	8	4	21	9	0	23	11
	%	15.2	54.5	30.3	14.7	50.0	35.3	8.8	79.4	11.8	20.6	55.9	23.5	11.8	61.8	26.5	0.0	67.6	32.4
	DI	▲ 15.1			▲ 20.6			▲ 3.0			▲ 2.9			▲ 14.7			▲ 32.4		
製造業	実数	5	18	10	8	15	10	4	21	8	5	20	8	2	22	10	6	18	10
	%	15.2	54.5	30.3	24.2	45.5	30.3	12.1	63.6	24.2	15.2	60.6	24.2	5.9	64.7	29.4	17.6	52.9	29.4
	DI	▲ 15.1			▲ 6.1			▲ 12.1			▲ 9.0			▲ 23.5			▲ 11.8		
卸売業	実数	2	16	16	3	10	22	2	24	9				2	16	16	1	27	7
	%	5.9	47.1	47.1	8.6	28.6	62.9	5.7	68.6	25.7				5.9	47.1	47.1	2.9	77.1	20.0
	DI	▲ 41.2			▲ 54.3			▲ 20.0						▲ 41.2			▲ 17.1		
小売業	実数	4	15	16	5	13	20	1	27	7				2	19	15	2	21	12
	%	11.4	42.9	45.7	13.2	34.2	52.6	2.9	77.1	20.0				5.6	52.8	41.7	5.7	60.0	34.3
	DI	▲ 34.3			▲ 39.4			▲ 17.1						▲ 36.1			▲ 28.6		
サービス業	実数	0	22	13	5	16	14	0	29	6				2	23	10	3	24	7
	%	0.0	62.9	37.1	14.3	45.7	40.0	0.0	82.9	17.1				5.7	65.7	28.6	8.8	70.6	20.6
	DI	▲ 37.1			▲ 25.7			▲ 17.1						▲ 22.9			▲ 11.8		

※ DI値：「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

：従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査
地域別景気判断比較表（DI値）
（第1四半期：2021年4月～6月）

（▲マイナス）

	業況						売上額・完成工事額						資金繰り					
	前期（1～3月）		今期（4～6月）				前期（1～3月）		今期（4～6月）				前期（1～3月）		今期（4～6月）			
		来期見通（4～6月）		前期比	来期見通			来期見通（4～6月）		前期比	来期見通			来期見通（4～6月）		前期比	来期見通	
						今期比						今期比						今期比
	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)
全県	▲ 44.3	▲ 32.9	▲ 25.8	18.5	▲ 28.8	-3.0	▲ 49.7	▲ 27.5	▲ 21.7	28.0	▲ 29.7	-8.0	▲ 21.8	▲ 17.8	▲ 11.1	10.7	▲ 14.0	-2.9
県北	▲ 46.9	▲ 40.7	▲ 21.0	25.9	▲ 18.4	2.6	▲ 31.2	▲ 37.5	▲ 15.0	16.2	▲ 25.0	-10.0	▲ 21.8	▲ 15.6	▲ 5.1	16.7	▲ 7.7	-2.6
県央	▲ 46.7	▲ 31.8	▲ 26.4	20.3	▲ 38.3	-11.9	▲ 62.5	▲ 25.0	▲ 20.0	42.5	▲ 37.2	-17.2	▲ 19.4	▲ 16.1	▲ 14.7	4.7	▲ 22.1	-7.4
県南	▲ 40.0	▲ 29.8	▲ 27.7	12.3	▲ 25.0	2.7	▲ 45.6	▲ 24.6	▲ 27.7	17.9	▲ 24.6	3.1	▲ 24.5	▲ 21.0	▲ 10.8	13.7	▲ 9.2	1.6

	受注残（未消化工事高）						採算（経常利益）						従業員（含む臨時）					
	前期（1～3月）		今期（4～6月）				前期（1～3月）		今期（4～6月）				前期（1～3月）		今期（4～6月）			
		来期見通（4～6月）		前期比	来期見通			来期見通（4～6月）		前期比	来期見通			来期見通（4～6月）		前期比	来期見通	
						今期比						今期比						今期比
	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)
全県	▲ 34.5	▲ 17.8	▲ 22.4	12.1	▲ 6.0	16.4	▲ 36.0	▲ 34.5	▲ 24.3	11.7	▲ 27.8	-3.5	▲ 16.6	▲ 17.9	▲ 19.8	-3.2	▲ 20.3	-0.5
県北	▲ 25.0	▲ 16.6	▲ 6.7	18.3	▲ 13.4	-6.7	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 13.2	24.3	▲ 12.8	0.4	▲ 21.8	▲ 21.8	▲ 31.6	-9.8	▲ 25.6	6.0
県央	▲ 36.4	▲ 21.8	▲ 35.7	0.7	▲ 10.7	25.0	▲ 38.7	▲ 33.8	▲ 30.0	8.7	▲ 37.7	-7.7	▲ 16.1	▲ 20.9	▲ 18.8	-2.7	▲ 26.1	-7.3
県南	▲ 38.1	▲ 14.3	▲ 16.6	21.5	4.2	20.8	▲ 32.1	▲ 33.4	▲ 24.6	7.5	▲ 26.1	-1.5	▲ 14.0	▲ 12.3	▲ 13.9	0.1	▲ 11.0	2.9

※ DI値：「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。
：従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果（地域別比較表）

（第1四半期：2021年4月～6月）

１．今期の状況

業種 ＼ 項目		業況			売上額・完成工事額			資金繰り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全県	実数	18	91	62	39	59	77	14	125	33	10	32	25	21	89	63	14	110	48
	%	10.5	53.2	36.3	22.3	33.7	44.0	8.1	72.7	19.2	14.9	47.8	37.3	12.1	51.4	36.4	8.1	64.0	27.9
	DI	▲ 25.8			▲ 21.7			▲ 11.1			▲ 22.4			▲ 24.3			▲ 19.8		
秋田	実数	8	34	26	17	22	31	4	50	14	4	10	14	6	37	27	8	40	21
	%	11.8	50.0	38.2	24.3	31.4	44.3	5.9	73.5	20.6	14.3	35.7	50.0	8.6	52.9	38.6	11.6	58.0	30.4
	DI	▲ 26.4			▲ 20.0			▲ 14.7			▲ 35.7			▲ 30.0			▲ 18.8		
大館	実数	2	11	4	7	6	5	3	11	3	0	6	1	4	9	4	0	9	8
	%	11.8	64.7	23.5	38.9	33.3	27.8	17.6	64.7	17.6	0.0	85.7	14.3	23.5	52.9	23.5	0.0	52.9	47.1
	DI	▲ 11.7			11.1			0.0			▲ 14.3			0.0			▲ 47.1		
能代	実数	1	13	7	2	10	10	1	18	3	2	4	2	0	16	5	0	17	4
	%	4.8	61.9	33.3	9.1	45.5	45.5	4.5	81.8	13.6	25.0	50.0	25.0	0.0	76.2	23.8	0.0	81.0	19.0
	DI	▲ 28.5			▲ 36.4			▲ 9.1			0.0			▲ 23.8			▲ 19.0		
大曲	実数	2	10	8	4	5	11	1	15	4	2	3	2	4	8	8	3	12	5
	%	10.0	50.0	40.0	20.0	25.0	55.0	5.0	75.0	20.0	28.6	42.9	28.6	20.0	40.0	40.0	15.0	60.0	25.0
	DI	▲ 30.0			▲ 35.0			▲ 15.0			0.0			▲ 20.0			▲ 10.0		
横手	実数	2	12	8	5	11	6	3	15	4	0	4	4	4	9	9	2	13	7
	%	9.1	54.5	36.4	22.7	50.0	27.3	13.6	68.2	18.2	0.0	50.0	50.0	18.2	40.9	40.9	9.1	59.1	31.8
	DI	▲ 27.3			▲ 4.6			▲ 4.6			▲ 50.0			▲ 22.7			▲ 22.7		
湯沢	実数	3	11	9	4	5	14	2	16	5	2	5	2	3	10	10	1	19	3
	%	13.0	47.8	39.1	17.4	21.7	60.9	8.7	69.6	21.7	22.2	55.6	22.2	13.0	43.5	43.5	4.3	82.6	13.0
	DI	▲ 26.1			▲ 43.5			▲ 13.0			0.0			▲ 30.5			▲ 8.7		

※　DI値：「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

：従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果（地域別比較表）

（第1四半期：2021年4月～6月）

２．来期の見通し

業種 ＼ 項目		業況			売上額・完成工事額			資金繰り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全県	実数	16	89	65	26	71	78	10	128	34	12	39	16	12	101	60	12	113	47
	%	9.4	52.4	38.2	14.9	40.6	44.6	5.8	74.4	19.8	17.9	58.2	23.9	6.9	58.4	34.7	7.0	65.7	27.3
	DI	▲ 28.8			▲ 29.7			▲ 14.0			▲ 6.0			▲ 27.8			▲ 20.3		
秋田	実数	6	30	32	8	28	34	3	47	18	4	17	7	3	37	29	5	41	23
	%	8.8	44.1	47.1	11.4	40.0	48.6	4.4	69.1	26.5	14.3	60.7	25.0	4.3	53.6	42.0	7.2	59.4	33.3
	DI	▲ 38.3			▲ 37.2			▲ 22.1			▲ 10.7			▲ 37.7			▲ 26.1		
大館	実数	2	12	3	4	8	6	1	13	3	1	5	1	3	11	3	0	11	6
	%	11.8	70.6	17.6	22.2	44.4	33.3	5.9	76.5	17.6	14.3	71.4	14.3	17.6	64.7	17.6	0.0	64.7	35.3
	DI	▲ 5.8			▲ 11.1			▲ 11.7			0.0			0.0			▲ 35.3		
能代	実数	1	13	7	3	8	11	1	19	2	1	4	3	1	15	6	0	18	4
	%	4.8	61.9	33.3	13.6	36.4	50.0	4.5	86.4	9.1	12.5	50.0	37.5	4.5	68.2	27.3	0.0	81.8	18.2
	DI	▲ 28.5			▲ 36.4			▲ 4.6			▲ 25.0			▲ 22.8			▲ 18.2		
大曲	実数	3	8	9	4	6	10	1	14	5	2	4	1	3	9	8	3	12	5
	%	15.0	40.0	45.0	20.0	30.0	50.0	5.0	70.0	25.0	28.6	57.1	14.3	15.0	45.0	40.0	15.0	60.0	25.0
	DI	▲ 30.0			▲ 30.0			▲ 20.0			14.3			▲ 25.0			▲ 10.0		
横手	実数	2	13	6	5	12	5	2	18	2	2	5	1	1	15	6	3	12	6
	%	9.5	61.9	28.6	22.7	54.5	22.7	9.1	81.8	9.1	25.0	62.5	12.5	4.5	68.2	27.3	14.3	57.1	28.6
	DI	▲ 19.1			0.0			0.0			12.5			▲ 22.8			▲ 14.3		
湯沢	実数	2	13	8	2	9	12	2	17	4	2	4	3	1	14	8	1	19	3
	%	8.7	56.5	34.8	8.7	39.1	52.2	8.7	73.9	17.4	22.2	44.4	33.3	4.3	60.9	34.8	4.3	82.6	13.0
	DI	▲ 26.1			▲ 43.5			▲ 8.7			▲ 11.1			▲ 30.5			▲ 8.7		

※　DI値：「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

：従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

参 考

県内景況調査に対する各企業のコメント

Ⅰ今期の特徴（2021年4～6月）

1 建 設 業	
・前期の繰越工事の施工分が完成しつつあり、収益は前期同様である。今期の受注に努力したい【一般土木建築工事】	県央
・年度超し工事がない【一般土木建築工事】	
・民間工事の受注があり完成工事額増加【一般土木建築工事】	
・今期は受注額が少ないため、完成までの期間が短く、経費は少し抑えられたと思う【土木工事】	
・公共工事、個人顧客からの依頼が減少し、完成工事額減少【塗装工事】	
・新年度のスタートであり、完成工事につながらない【一般電気工事】	
・囚手不足により消化不良になりそうだ【一般電気工事】	
・大雪の雪害による修繕が多く、消化しきれていない【鈑金工事】	県南
・雪害による工事の増加で完成工事額、資金繰り、採算が好転した【建築工事】	

2 製 造 業	
・コロナ禍が一巡したにも関わらず、感染拡大第四波と緊急事態宣言の発出及び延長、影響の長期化により、飲食店の休廃業が増加したため、業務用の出荷がさらに減少。家庭用の出荷は堅調であるが、落ち込みを補う勢いはない【清酒製造】	県央
・売上単価が低く推移しているため、総額は前年比で減少した【水産物製造・卸売】	
・①イベント関連の2年連続中止に伴い、宣伝印刷物の受注が戻らない。②県外営業停止状態が続き、受注の取り込みがままならない【印刷】	
・首都圏の物件が一段落した。発注量の減少についてはメーカー各社より情報が入っていた。オリンピック期間中の工事中断も売上減少の一因となると思う【金属製品】	
・コロナ禍の影響が少なからずあり【綱】	
・コロナ禍の影響あり【清酒】	県北
・市況低迷、受注残少なく、当面は苦しい状況が続く見込【コンクリート】	県南
・4、5月は前期よりよかったが、6月は前期より悪かった【乾麺】	

3 卸 売 業	
・コロナ禍において食品業界は比較的強いと感じる【食肉】	県央
・値上げ品が多く、利益率の低下、資金需要が増加している【食料・飲料】	
・雪の被害で5月頃まで売上が上昇したが、総額は昨年並【家庭用電気機械器具】	
・コロナの感染次第である。特に子供たちの買い控えが大きい【雑貨】	
・小売店（大型店）は好調であるが、飲食業、観光業の売上が回復せず、伸びが悪い【青果・水産物】	県北
・野菜の値上がりによる売上減少【漬物】	

4 小 売 業	
・昨年はこの時期に休業していたため売上額は増加しているが、営業日数で対比すると昨年より悪くなっている【婦人靴】	県央
・景況が良くないせいか依然消費力が上がって来ない。業界全体も良くないようだ【茶類】	
・県内では新型コロナウイルスの影響はほとんどないものの、メーカーの商品改良等が相次いでいることから市場が活発化傾向にあり、半導体不足等により商品の出荷遅れや販売価格の低下はあるものの、増収・増益となった【自動車】	
・昨年同期はコロナで休業（4/19～5/11）のため、今期の売上は増加した【化粧品】	
・売上減少。小売に関しては昨対で増加したが、イベント関連、冠婚葬祭の需要が減少した【生花・造花】	県北
・昨年同様、コロナ禍による生活様式の変化が続き、売上は見込めない【菓子】	
・先が見通せない【酒類】	
・増収・減益【燃料】	県南
・コロナにより受注が伸び悩んだが、事業内容の見直しで売上額、資金繰り、採算は前年並となった【ギフト】	

5　サービス業	
・コロナ問題で前に進むことが全くできない状態である【普通洗濯】	県央
・一時期はコロナ禍の影響を受けた得意先の売上減が続き、心配があったが、少しずつ回復してくるように思われる【ビルメンテナンス】	
・昨年が悪すぎたため、今期が回復している訳ではない。新型コロナの影響が大きい状況に変わりはない【運輸】	
・売上が前年同月比約8％増加となる見込[国産材（昨年は定期傭船契約あり）、石膏等の取扱数量の減少はあるものの、亜鉛鉱、石炭の取扱増による]【運輸】	
・コロナがおさまらない【食堂】	県北
・コロナの影響に一定の落ち着きが見られた【自動車整備・販売】	
・新規の現場測量が入ったので資金繰りに困っていない【測量設計】	
・売上が今期は戻りつつあるが、まだコロナの影響で昨年よりは減少している【保険代理業】	県南
・前年よりは改善しているが、依然として低水準。制度融資返済開始に伴い、資金繰りは悪化【ホテル】	

Ⅱ来期の見通し（2021年7～9月）

1 建 設 業	
・受注増になるよう頑張りたい【一般土木建築工事】	県央
・今期と同様の見通し【一般土木建築工事】	
・来期は受注する工事が少なく、見通しはあまり良くないと思う【土木工事】	
・やや規模の大きい現場が増えたことにより業況が好転する見通し【防水工事】	
・官民からの発注の減少を見込む【塗装工事】	
・5G携帯基地局関連が増えてくる【一般電気工事】	
・今期と同様の見通し【一般電気工事】	
・例年通りの見込【総合建設】	県北
・公共工事の減少を見込む【総合建築工事】	県南
・大型の屋根工事等が多く、需要過多でお断りする現場もあり【鈑金工事】	
・リフォーム工事の増加による完成工事額、資金繰り、採算の好転を見込む【建築工事】	

2 製 造 業	
・ワクチン接種が遅れている現況と変異株の感染拡大等を考えると今期とあまり変わらないという判断である【清酒】	県央
・コロナ後の回復により好転を見込む【清酒】	
・コロナの終息が早まれば売上回復できると思う【水産物製造・卸売】	
・イベント、観光関連の復活による需要の掘り起こしを見込む【印刷】	
・9月頃までは現状と変わりなく、受注は大きく伸びないと思われる。原材料価格（鉄・ステンレス類）が高騰してきており、今後の値動きが心配である【金属製品】	
・資材の値上がりで今年後半以降、採算に影響が出る可能性も？【金属製品】	
・引き続きコロナ禍の影響ありと見込む【清酒】	県北
・鉄道関連でオリンピック期間中にできない部分が前倒しで動ける感じであったが、その関連で受注が鈍化する恐れがある【機械器具】	
・売上は前期より増加するものの、収益性は低く、厳しい状況となる【コンクリート】	県南
・オリンピック・パラリンピックに注目が集まり、地方は置き去りになる。ワクチン接種がどれだけ進むかまた、選挙で経済対策がいつ実行されるかにかかっている【乾麺】	

3 卸 売 業	
・予想は難しいがワクチンが進むにつれ、好転することを願う【食肉】	県央
・衛生関連品の値下げにより、売上減少が見込まれる【紙・紙製品】	
・電器店のメイン売上がエアコン取り付けに向くため、アンテナ関係は厳しい状況になる【家庭用電気機械器具】	
・市内小学校のクラスター発生により、ますます子供たちの買い控えが大きくなると思う【雑貨】	
・地元の小規模小売店の閉店など高齢化による商圏の縮小が起こっている青果・水産物】	県北
・売上高は回復基調にあるものの、仕入高の高騰により採算は予想を下回ると思われる【鶏卵】	
・コロナ禍による環境の悪化を見込む【酒類・肥料】	県南

4 小 売 業	
・コロナ禍によるマイナス効果が続いており、まだ回復の兆しがない【婦人靴】	県央
・ギフト商品が動けば多少好転するが、後は10月頃まで不調が続く見通し【茶類】	
・コロナの状況により好転もありうる【自動車部品】	
・売上はさらに悪化する【自動車部品】	
・全国的に新型コロナウイルス感染症の影響はほとんどないが、一部商品でメーカーの生産が逼迫していることに加え、半導体不足の影響から商品の生産に遅れが発生し、コンパクトカーを中心に長納期化傾向となっており、前年同期の売上確保が困難な状況を見込む【自動車】	
・新メニューを増やし、設備を追加導入し、売上、利益UPを計画している【化粧品】	
・冠婚葬祭の需要はこのまま減少する見込【生花・造花】	県北
・何も見えない【酒類】	
・減収・減益を見込む【燃料】	県南
・コロナによる受注減に早期に対応していく【ギフト】	

5 サービス業	
・他国の経済情勢に変化が生じ、石油製品及び各界が値上げ傾向にある【普通洗濯】	県央
・売上は昨年対比では増加を見込んでいるが、収益状況は依然として厳しい【運輸】	
・飲食関連の売上がまだまだ回復の見込は立たないが、その他の業種は徐々に回復されると思う【ビルメンテナンス】	
・売上は前年同月比約10%増加となる見込（国産材の生産量が安定していること等）【運輸】	
・夏祭りの中止、大学生のクラスター等でまたまたキャンセルが増えている【食堂】	県北
・更新の顧客のため売上は減少するが、借入返済がないので資金繰りは大丈夫【測量設計】	
・今期と同じまたは少し好転すると思う【自動車整備】	県南
・売上が伸びている業種でも先行き不安定のため、新契約が伸びていない。むしろ先を考えて契約を減らす、整理をしている所が多く、厳しくなると思われる【保険代理業】	
・コロナにより見通しが立たない【広告代理店】	
・前年並を予想。オリンピック後のコロナの感染状況が気がかり。制度融資の返済により資金繰りは不安が続く【ホテル】	